

~Discover MURA no TAKARA 8th~

令和3年度
東北農政局管内優良事例集

東北農政局 ディスカバー

むら

たから

農山漁村の宝
アワード



令和4年1月
東北農政局



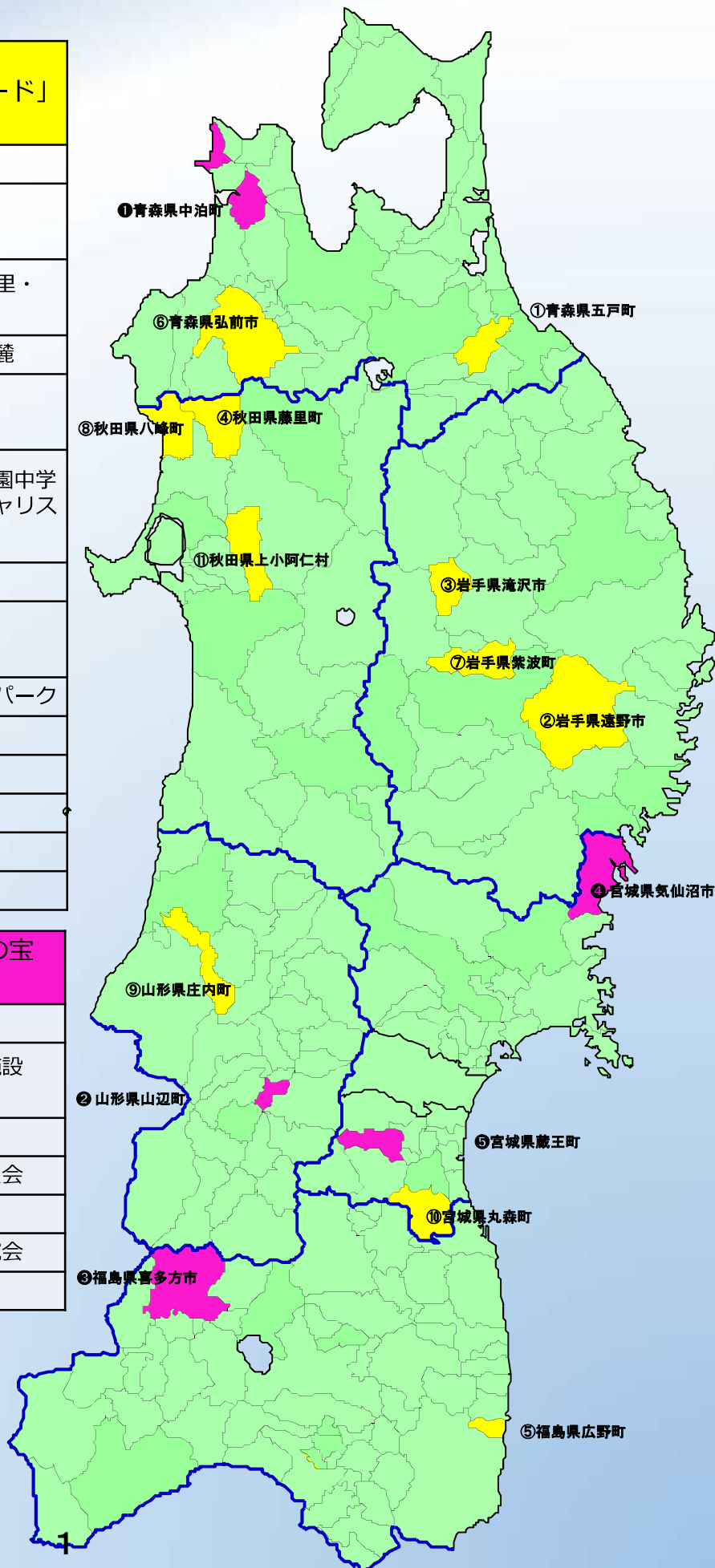
令和3年度 東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」 選定位置図

令和3年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」 選定11地区

コミュニティ部門		
①	青森県五戸町	舘町神楽舞保存会 (倉石土地改良区)
②	岩手県遠野市	認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク
③	岩手県滝沢市	水土里ネット 岩手山麓
④	秋田県藤里町	特定非営利活動法人 ふじさと元気塾
⑤	福島県広野町	福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 スペシャリスト系列(商業)3年次
ビジネス部門		
⑥	青森県弘前市	農業生産法人 有限会社 ANEKKO
⑦	岩手県紫波町	株式会社紫波フルーツパーク
⑧	秋田県八峰町	八峰町 農林振興課
⑨	山形県庄内町	株式会社 いで葉工望
個人部門		
⑩	宮城県丸森町	八島 哲郎
⑪	秋田県上小阿仁村	鈴木 孝明

「第8回ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」 全国選定5地区

コミュニティ部門		
①	青森県中泊町	中泊町農産物加工販売施設 出荷者協議会
②	山形県山辺町	グループ農夫の会
③	福島県喜多方市	福島県喜多方市教育委員会
ビジネス部門		
④	宮城県気仙沼市	気仙沼水産資源活用研究会
⑤	宮城県蔵王町	蔵王農泊振興協議会



東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」の概要

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」とは

「ディスカバー農山漁村の宝アワード」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信しているものです。

全国で選定された地区以外であっても、東北農政局管内には数多くの優良な事例が存在していることから、地域の活性化、所得向上等の取組や都市農村交流等に取り組んでいる優良な事例を「東北農政局『ディスカバー農山漁村の宝アワード』」として選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図ることとしています。

選定の対象及び選定方法

選定の対象は、内閣官房及び農林水産省が実施した募集において東北農政局管内から応募のあった136件のうち、全国表彰で選定された5地区を除いた131件としました。

選定に当たっては、農政局内に設置した「選定委員会」による審査を経て、11地区を優良事例として選定しました。

選定証授与式・意見交換

令和3年12月21日(火曜日)、仙台市内において、選定証授与式を開催しました。選定証授与式では、坂本東北農政局長から選定地区の代表者へ選定証を授与しました。

式典後、東北農政局選定地区による意見交換を行いました。



坂本東北農政局長からの式辞



受賞者への選定証授与



受賞者の記念写真



意見交換



ごのへまち
青森県五戸町

農林漁業、
農村文化体験

伝統の継承

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

たてまちかぐらまいほぞんかい
①館町神楽舞保存会(倉石土地改良区)

館町地区神楽舞の伝説



町内老人ホームへの慰問活動風景①



町内老人ホームへの慰問活動風景②



町内老人ホームへの慰問活動風景③

概要

江戸時代初期から続く伝統芸能であり、季節や物事の節目の儀式として地域の人々と一緒に取り組んでいる。又、貴重な文化資源を後世に継承するため若手の育成や内外への発信に積極的に取り組んでいる。

取組の効果

- 又重の新山神社例大祭で披露されるほか、結婚式において新郎新婦の見固めの儀式として活動するなど、住民の生活と密着した文化遺産として貴重なものとなっている。
- 町内の老人ホーム2施設への慰問活動を行っている。そのうち1施設においては約30年にわたり活動しており、施設入所者や地域住民において恒例の行事として深く根付いている。又、会社員や公務員学生を構成することにより若手育成に取り組んでいる。
- 活動を支えているのは獅子頭(権現様)をはじめ神楽の楽器や小道具であり、楽器は太鼓、鉦、笛。小道具は、面(十余種類)、扇、刀、錫杖、弓、烏帽子など活動初期(370年前)の物があるためメンテナンスに多くの時間や費用をかけている。中山間直接支払制度による集落協定の補助金を活用し修繕の費用を補っている。



とおのし
岩手県遠野市

農泊

農林漁業、
農村文化体験

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

にんてい NPO ほうじん とおの やま・さと・くらし ネットワーク
②認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク

旅も人も、ありのままがいい♪遠野旅の産直



オンラインツアーに100名参加(2020/12)



2021年夏頃から農村民泊利用の学校が来ている



農家に立ち寄る「マウンテンバイク」企画が好評

概要

多様な旅行客に対応したグリーン・ツーリズムや農泊事業の推進や東北各地へのコンサルティング、復興支援を行っている。

取組の効果

- 2019年には、人や暮らしに焦点を当てた「ありのままの暮らしぶりを体感できる」旅のメニュー提供によるグリーン・ツーリズムメニューの販売店舗「遠野旅の産地直売所」(旅行業第3種)を遠野駅前に開業。
- 2020年春以降、遠野市民を対象にしたグリーン・ツーリズム「遠野超マイクロツーリズム」(2020年300名)やオンライン(20企画延べ500名)を活用した「遠野旅のオンライン産直」を実施。特に、遠野超マイクロツーリズムは、受入先と来訪者が一定の安心を確保しながら、コロナ禍の交流人口の自粛傾向の中で、地元を対象に300名の受け入れを行う企画となった。



たきざわし
岩手県滝沢市

環境保全、
景観保全

教育機関との
連携

青森

秋田

★
岩手

山形

宮城

福島

みどりねっと いわてさんろく
③水土里ネット 岩手山麓

先人からの恩恵を未来へつなぐ宝の水



小学校学習会(円筒分水工の見学)



越前堰篠木地区クリーン作戦

概要

農業水利の歴史と役割を学習会等により次世代に伝え、更に「アドプト制度」で地域資源を守り育てている。



アドプト協定による施設と環境の保全活動

取組の効果

【歴史と多面的機能の学習会】

当団体が管理する岩洞用水と越前堰用水について、受益地内の盛岡市立土淵小学校と滝沢市立篠木小学校の児童を対象に、かんがいの歴史と農業用施設の持つ多面的機能についての学習会・施設見学会を継続して実施。

【農業水利施設クリーン作戦】

中学生を対象とした農業水利施設のクリーン作戦を越前堰用水において実施。本活動を通して中学生から地域住民への環境保全意識の広がりが見られ、当団体の様々な地域貢献活動の認知度も高まっている。

【アドプト(養子縁組)協定活動】

農地や農業水利施設の持つ多面的機能の維持のために、アドプト制度(地元自治会・学校・企業などが「里親」になり、「養子」(=農業水利施設)を守る)の推進・定着を図っている。



ふじさとまち
秋田県藤里町

農泊

食育・教育

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島

とくていひえいりかつどうほうじん ふじさとげんきじゅく
④特定非営利活動法人ふじさと元気塾

南白神の里で地域の宝を磨いて元気創造！



改修して南白神ベースになる空き家



南白神の里の農家民宿の手料理



子どもたちと大学生の川遊び

概要

南白神の里の里山、集落、清流の川を活かして地域住民が元気になる活動を創り出している。

取組の効果

【農家民宿運営】

順調に推移して宿泊者数が増加傾向にある。関係づくりとしてサポーター会員制度を設けているが、首都圏や仙台市など34人に増え、さらに50人以上を目指している。

秋田県内の大学生 ARCグループとの協働事業と国際教養大学国内の学生や留学生を招いて交流を行っている。藤里小学校の子どもたちの農家民宿宿泊体験も続けている。

【その他】

自主事業のイワナ養殖、藤里町木の駅管理運営・移住定住促進・空き家紹介管理事業、秋田県のグリーン・ツーリズム拠点地域育成事業、魅力ある里づくりモデル事業、森林の多面的機能発揮事業を行っている。



ひろのまち
福島県広野町

復興

学生・若者の
活躍

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島



ふくしま けんりつ ふたば みらい がくえん ちゅうがっこう・こうとうがっこう

⑤福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校
スペシャリスト系列(商業)3年次

Fから始まる言葉への思い～Fのわたあめ～



剪定等を行い、農家との交流機会を増加
(左上:パッションフルーツの受粉、右下:ユズの収穫)



地元の果汁を使ったSNS映えするわたあめ

生徒参加の販売PR

令和3年7月15日(木) 14:00-16:00
鮮場やっちゃば おのぎき平店

生徒による出張販売

令和3年7月16日(金) 13:10-13:40
さくらモールとみおか 交流広場

令和3年7月17日(土) 13:00-15:00
道の駅ならば



【浜の輝】を使った
厚揚ソフトスティック

厚揚ソフトスティック購入の方には、
富岡町産玉ねぎ【浜の輝】を1つ
プレゼントします。(先着60名まで)

地元の特産品を地元加工業と協働で商品開発

概要

福島県の復興の姿をみんなに伝える
ために、ソーシャルビジネスの実
践を高校生が行っている。

取組の効果

【農家と若い世代の交流】

震災前より第1次産業を支えてきた農業が停滞し、地域6次化商品は激減したため、高校生が学習しているビジネスを、地域での交流を通して商品化を行っている。その一環で、若い世代をターゲットとした、中学生への収穫ツアーの実施や剪定・摘果・受粉といった農作業の体験を企画実践している。

【産業間の交流】

地元富岡町産の玉ねぎを使った蒲鉾を地元企業と共に開発した。また、開発した商品を地元鮮魚店での店頭販売やネット販売に結び付けた。

【新商品の開発】

イベント等に出店し、アピールするための商品として、高校生が剪定、摘果、受粉、収穫した果実で作る【Fのわたあめ】を開発した。



青森県弘前市 ひろさきし

6次産業化

地域活性化

★青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

のうぎょうせいさんほうじん ゆうげんがいしゃ あねっこ
⑥農業生産法人 有限会社ANEKKO

みんなが笑顔で集まる地域の交流拠点！



平日も来客で賑わう農産物直売所「野市里」



市民農園「向日葵」での収穫体験



旬の嶽きみを加工し作られたお菓子や焼酎等

取組の効果

- ①直売所「野市里(のいちご)」の運営
 「華クラブ」会員が生産した野菜、果物、手芸品等を主に仕入れ、提供。規格外や余剰生産物を所得に変える他、お客様に食べ方をアドバイスし売上げを伸ばしている。
- ②レストラン「こざくら」の運営
 勇壮な岩木山や田園風景を眺めながら、主に地元産の四季の食材を使ったランチや喫茶が楽しめる。
- ③市民農園「向日葵」の運営
 1区画50㎡の畑と農機具の貸出しを実施。自社管理区画においては地元保育園に畑を無償提供するほか、学校へ農作業体験を提供し、子どもたちの農業に対する興味・関心を醸成している。
- ④「嶽きみ」加工品の開発・販売
 廃棄されることが多かった2番果以降の旬の嶽きみを利用し、様々な加工商品の開発に取り組む。できる限り地元企業に商品製造を委託し、地域ともに活性化を図る。

概要

総合交流拠点として農産物直売所やレストラン、市民農園の運営、特産の「嶽きみ」の6次化、農泊施設を運営している。



しわちよう
岩手県紫波町

6次産業化

雇用

青森

秋田

★岩手

山形

宮城

福島

かぶしきかいしゃ しわ
⑦株式会社紫波フルーツパーク

6次産業化による地域貢献



自園のワイン用ぶどう畑



約500名ワインオーナーの農作業体験



「自園自醸ワイン紫波」のワイン

取組の効果

【農家所得の向上】

- ・ワイン用ブドウ購入額 令和2年度 42,143千円
- ・原料不足が見込まれたので、生産者の圃場や栽培面積を17haまで拡張

【社会貢献】

- ・町の成人式出席者にワイン引換券を進呈

【研修の場】

- ・小学生の果樹に触れる勉強の場として受入れ
- ・中学生のブドウ作業体験の受入れ
- ・岩手県立農業大学校の実習受入れ
- ・大学生のインターンシップ受入れ

【コロナ禍での活動】

- ・令和3年度は、ワイン在庫が増加したので賞味期限のない強みを生かして、廃校になる地元の小学校の教室等を借用し、長期保管庫に改築して3年熟成ワイン(新商品)を販売する予定。

概要

当初のワインの販売目標5万本が10万本超の実績で農家所得の向上と贈答品などに寄与しました。



はっぼうちょう
秋田県八峰町

教育機関との
連携

農福連携

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島

はっぼうちょう の う り ん し ん こ う か

⑧八峰町 農林振興課

「世界が認める」生薬の郷を目指して



(八峰町生薬実証圃:キキョウの栽培状況)



カミツレ収穫体験:秋田県立金足農業高校



キキョウを活用した薬膳料理メニュー

取組の効果

【活用内容及び成果】

- ・近年は全量を海外輸入に頼っていた生薬原料のキキョウについて、八峰町が生薬原料の国内生産に着手し、栽培普及に至る。
- ・カミツレについても栽培指針と調製乾燥作業体制を確立し、特産品開発を支援することにより食品原料の流通拡大を進めながら栽培規模拡大を目指している。

【学生・児童への教育や体験】

- ・カミツレ収穫が手作業であることを活かして、学校教育や生薬PR等の観点から毎年町内小中学校の収穫体験、高等学校の収穫体験や職場体験、福祉団体の収穫体験や視察研修等を積極的に受け入れて交流人口の確保に努めている。
- ・平成30年度には、社会とのつながり支援事業を活用して、ひきこもり者をカミツレ生産組合の収穫作業に受け入れることで社会復帰を促すという活動にも取り組んでいる。

概要

生薬原料のほとんどを中国からの輸入に頼っていることから、世界的な生薬需要の高まりから、平成24年度から栽培実証に取り組んでいる。



しょうないまち
山形県庄内町

食育・教育

企業との連携

青森

秋田

岩手

★山形

宮城

福島

かぶしきがいしゃ いではこうぼう
⑨株式会社 いで葉工望

「すこやかな赤ちゃん葉っぱを 庄内の大地から」



ベビーリーフ栽培ハウス内部



子ども食堂で「ベビーリーフ」の栽培方法を説明



地元ラーメン店とコラボ商品を開発し提供

概要

他業種とのコラボレーションによるメニューの開発、子ども食堂との連携による食育活動、半農×半ITを実践した。

取組の効果

【経営基盤の確立】(ハウス棟数36棟)

・ハウス設備、機械設備等の投資をし、これにより積雪地域でも周年栽培と出荷が可能となりました。

【地域内他産業との連携】

・レストランやスーパーでの販売に加え、「ベビーリーフ入り白湯ラーメン」「わかば餃子」、自社トマトを使用した「サルサソース」を開発。

【ボランティア団体との連携】

・地域の「子ども食堂」と連携し、児童へ「ベビーリーフ栽培キット」を提供し、食育活動に取り組んでいます。

【地域雇用の拡大と新農業の在り方を模索】

・地域雇用創出に加え、愛知県のIT企業との連携によるダブルワークを試験的に実施。



まるもりまち
宮城県丸森町

農林漁業、
農村文化体験

6次産業化

青森

秋田

岩手

山形

宮城
★

福島

やしま てつろう
⑩八島 哲郎

身も心もホッとするみんなの故郷を目指して



店の隣が手入れした竹林、2階が干柿の干場



美味しいたけのこをいつでも食卓へ

概要

直売所の運営とともに、農作業体験や、出張販売、SNS等多様なチャンネルを活用し、地域活性化を図っている。



干柿づくりは晩秋の恒例行事になっている

取組の効果

【やしまの運営】

・春のたけのこ、秋の柿をメインに、旬の山菜や地元食材を並べている。地元住民のため食料品も販売。地元食材メインのランチの提供も行い、観光客を呼び込んでいる。

【6次産業化】

・孟宗竹のたけのこを使用したレトルトカレーやごはんの素を開発・販売。令和3年度はハチクのたけのこを使用した「破竹の勢い！たけのこカレー」を開発。
・また、干柿(ころ柿)をビターチョコでコーティングした「あなたのハートいちころチョコ」も開発・販売。

【農作業体験会等による交流活動】

・たけのこ掘り体験が恒例となっていたが、コロナ禍により令和3年度は代わりに竹林を案内する“竹林さんぽ”を始めた。

・干柿づくり体験会は、「弘法柿組合」で関東からのバスツアーを7年連続で受入れている。ザンビアからの研修生も10年以上も継続し、国際交流にも貢献している。



秋田県上小阿仁村 かみこあにむら

農泊

定住・移住

青森

★秋田

岩手

山形

宮城

福島

⑪鈴木 孝明 すずき たかあき

農園農業体験と農泊で移住定住地域おこし



なんも大学取材時写真



2018大学生夏休み農業収穫体験



食用ほおずき、たじゅうろう農園看板

概要

モニターツアー等による農業体験、自動運転サービス体験、農泊宿泊による地域活性化と高齢化率等課題解消

取組の効果

【モニターツアーの実施】

・DMOによる諸事業を通じて、将来の回復期に向けたインバウンド対応のため定住外国人を含めた農泊における農業宿泊体験を実施した。

【大学、大学生の体験活動研究】

・コロナ以前は、数校の大学生が夏休みの取組で農業実習体験や研究をし、結果を村に還元し有効活用するなど、社会貢献をしている。

【農商工連携による特産品の普及販路拡大】

・平成29年2月にお菓子販売会社「くら吉」、お菓子製造会社「ゆう幸」、たじゅうろう農園との農商工連携により首都圏向けに村特産品の「食用ほおずき」の販路拡大を行っている。

【農泊の新規開業】

・令和3年1月に村内で民間宿泊施設を開業。
・魅力ある農泊・農村づくりの第一歩として、ワーケーションなど「新たな旅のスタイル」に対応するべく、国内外からお客様を迎えるためのソフト・ハード両面を整備している。

「ディスカバー農山漁村の宝」(第8回選定) 選定地区及び選定者位置図

中国 【ブランド化・企業との連携】

No.27 岡山県 岡山市 **優秀賞**
植田 輝義

【環境保全・荒廃農地対策】

No.28 岡山県 新見市
草間台エコミュージアム推進協議会

【地産地消・地域づくり】

No.29 広島県 庄原市 **特別賞**
株式会社敦信村農吉

【6次化・地産地消】

No.30 山口県 長門市
株式会社63Dnet

四国 【6次化・地産地消】

No.31 徳島県 阿南市 **特別賞**
黒川 真太郎

【森林林業・移住定住】

No.32 徳島県 神山町 **優秀賞**
神山しずくプロジェクト

【伝統の承継・輸出】

No.33 香川県 高松市
「高松盆栽の郷」推進協議会

【企業との連携・移住定住】

No.34 愛媛県 伊方町 **特別賞**
愛媛県立三崎高等学校
「せんたんプロジェクト」

【環境保全・鳥獣害対策】

No.35 高知県 本山町
吉延宮農組合

九州・沖縄 【環境保全・地産地消】

No.36 福岡県 みやま市
みやま市環境衛生課
循環型社会推進係

【若者の活躍・地産地消】

No.37 佐賀県 伊万里市
佐賀県立伊万里実業高等学校
フードプロジェクト部

【6次化・地産地消】

No.38 沖縄県 名護市
山原女性農業者の会

近畿 【6次化・輸出】

No.22 京都府 和束町 **特別賞**
お茶の通販・京都おぶぶ茶苑合同会社

【食育教育】

No.23 大阪府 堺市
大阪府立農芸高等学校

【森林林業・6次化】

No.24 奈良県 十津川村 **特別賞**
空中の村

【荒廃農地対策・鳥獣害対策】

No.25 和歌山県 田辺市
株式会社日向屋

【ブランド化・輸出】

No.26 和歌山県 田辺市 **特別賞**
那須 誠

北陸 【スマート農業】

No.16 新潟県 新潟市
株式会社白銀カルチャー

【農村文化体験・若者の活躍】

No.17 新潟県 上越市
月影の郷運営委員会

【水産・伝統の承継】

No.18 石川県 羽咋市
石川県漁業協同組合柴垣支所

関東 【6次化・景観保全】

No.11 栃木県 宇都宮市 **特別賞**
株式会社ワカヤマファーム

【農福連携・6次化】

No.12 栃木県 小山市
株式会社いちごの里ファーム

【若者の活躍・荒廃農地対策】

No.13 東京都 目黒区
東京大学むら塾

【企業との連携・6次化】

No.14 神奈川県 小田原市 **優秀賞**
一夜城017ガーム・MJJ部会

【農泊・伝統の承継】

No.15 長野県 佐久市 **特別賞**
SAKU酒蔵アグリズ推進協議会

東海 【6次化】

No.19 岐阜県 飛騨市
有限会社牧成舎

【農福連携】

No.21 三重県 津市 **グランプリ**
一般社団法人
三重県障がい者就農促進協議会

【若者の活躍・6次化】

No.20 愛知県 岡崎市
安城農林高校エグプロ研修班
with岡崎市

北海道 【環境保全・輸出】

No.01 北海道 北見市 **特別賞**
環境大善株式会社

【伝統の承継・企業との連携】

No.02 北海道 北広島市 **特別賞**
北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」

【農村文化体験・食育教育】

No.03 北海道 当麻町
当麻土地改良区

【6次化・ジビエ】

No.04 北海道 豊頃町 **優秀賞**
株式会社ELEZO社

【6次化・企業との連携】

No.05 北海道 陸別町
日向 優

東北 【地域づくり】

No.06 青森県 中泊町
中泊町農産物加工販路開設
出荷者協議会

【水産・企業との連携】

No.07 宮城県 気仙沼市
気仙沼水産資源活用研究会

【農泊】

No.08 宮城県 蔵王町
蔵王農泊振興協議会

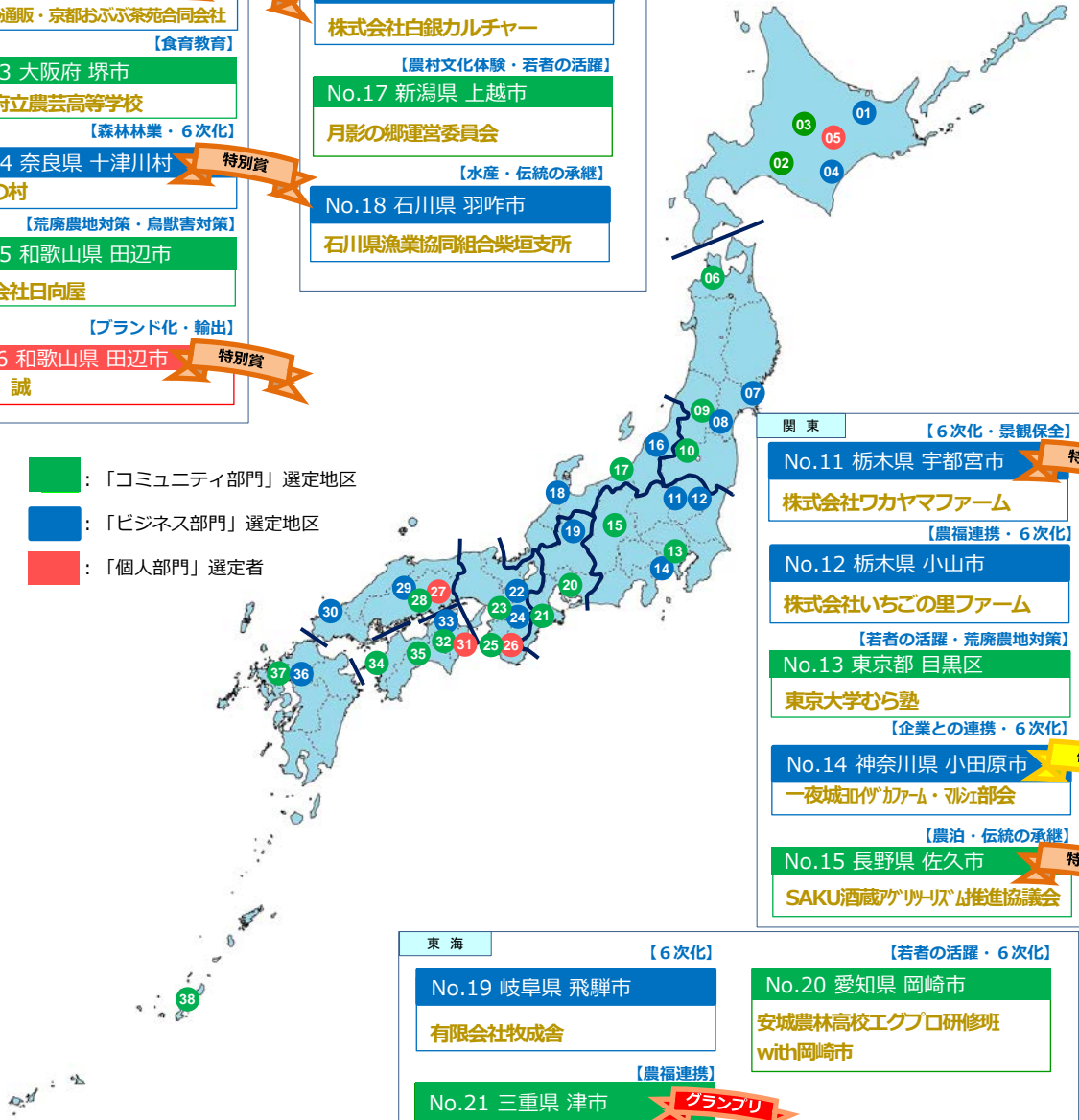
【棚田保全】

No.09 山形県 山辺町 **優秀賞**
グループ農夫の会

【食育教育】

No.10 福島県 喜多方市
福島県喜多方市教育委員会

- : 「コミュニティ部門」選定地区
- : 「ビジネス部門」選定地区
- : 「個人部門」選定者



中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会

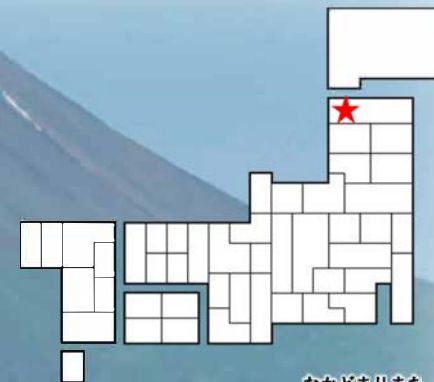
— 地域共生社会の核となる産直を目指して！ —



コミュニティ部門

地域づくり

高齢者の活躍



所在地：青森県 中泊町



保冷車を活用した移動販売



会員からの集荷状況

概要

- 農産物の集荷・宅配・移動販売を実現し、高齢出荷者及び車を保有していない買物弱者への支援を実施。
- 商工業者等と協力して「ピュア朝市」の開催のほか、地元高校生のプロジェクトと連携した商品開発等を展開。

成果

- 移動販売の売上は、約3万円（平成30年度）から約600万円（令和2年度）に増加しており、高齢者等の買い物支援に貢献。
- 「ピュア朝市」では農産物出品のほか、ヨガや健康食の情報提供など健康づくりを学習・実践できる機会も創出。



「ピュア朝市」の様子

気仙沼水産資源活用研究会

— 気仙沼から、もっと。 —

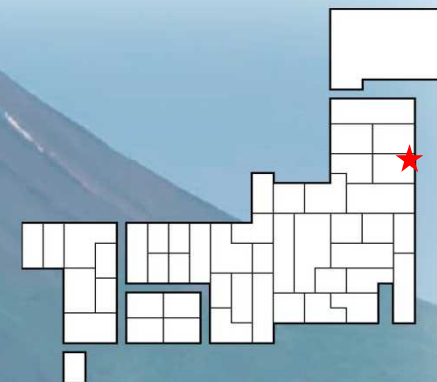


気仙沼水産資源活用研究会の開発商品

ビジネス部門

水産

企業との連携



所在地：宮城県 気仙沼市



平成27年度に（株）KESEMO MARINUSが誕生

概要

- 30社超の地元企業と気仙沼市が連携し、平成25年11月に発足。地域資源を活用した商品開発、共通ロゴ等による販路拡大。
- 平成27年度には、ケセモマリナス（株）KESEMO MARINUSを設立し、化粧品等の水産加工製品ブランドを展開。

成果

- 開発商品の売上は約1,300万円（令和元年度）から約2,300万円（令和3年度目標）に増加見込み。
- フカコラーゲンを使った洗顔料や化粧品、ホヤを使った醤油やソース等の特徴的な新商品の開発、情報発信を実施。



ワーキンググループでのディスカッション

蔵王農泊振興協議会



— 持続可能な地域づくり戦略SDZ(ao)s —



空き家を改修した宿泊施設



ワーケーション風景



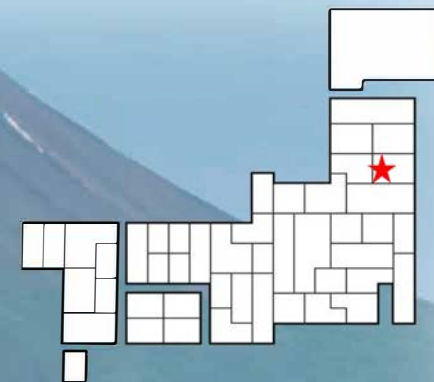
体験コンテンツ（陶芸体験）

ビジネス部門

農泊

荒廃農地対策

移住・定住



ざおうまち
所在地：宮城県 蔵王町

概要

- 「空き家」、「荒廃農地」等の「負債」を有効に利用することで、「宿泊施設」、「観光農園」等の「資源」に転化。
- 陶芸体験等の新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。

成果

- 農泊関連売上は、500万円（平成30年度）から1億5,000万円（令和2年度）に増加。
- コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。

グループ農夫の会

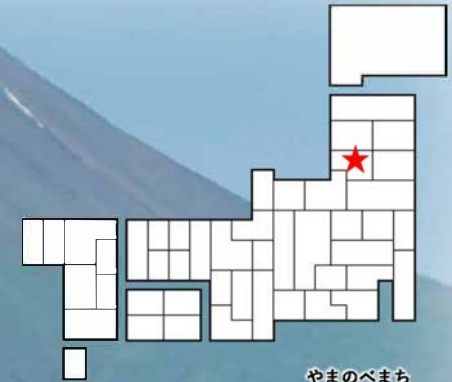
— 棚田のてっぺんまでの再生を。 —



田植え風景

コミュニティ部門

棚田保全



やまのべまち

所在地：山形県 山辺町



大蕨棚田米、モンテ棚田米、山響棚田米

概要

- 農作業体験や支援団体とのイベント活動、棚田米の販売など、地域内外の協力により、棚田再生と地域活性化に向けて活動。
- モンテディオ山形を運営する山形県スポーツ振興21世紀協会や山辺町等と連携し、棚田での米づくりに着目した棚田再生を実施。

成果

- 棚田再生面積は、0.4ha（平成23年度）から2.6ha（令和2年度）まで拡大、会員数も101名に増加。
- モンテディオ山形と連携した雪中棚田サッカー大会、「棚田でピクニックコンサート」等の実施により交流人口の拡大に貢献。



雪中棚田サッカー大会

福島県喜多方市教育委員会



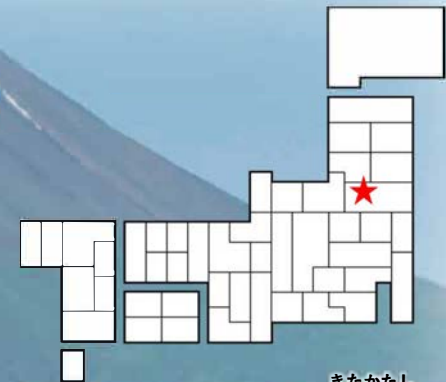
— 小学校農業科 いのちを育み、いのちをつなぐ —



黄金色に実った稲の刈り取り

コミュニティ部門

食育・教育



所在地：福島県 喜多方市



収穫祭で農業科支援員へ感謝の手紙と握手

概要

- 国の構造改革特区の認定を受け、市内全ての小学校が、年間を通し農業学習として「農業科」を実施。
- 小学校農業科副読本による学習だけでなく、稲、大豆やトマト等の多数の野菜を自ら栽培し、調理・加工から食することまで実践。

成果

- 種まき、栽培管理、収穫、調理、試食までの実習のほか、年間を通じたまとめとして「小学校農業科作文コンクール」を実施。
- 地域の農業者を「農業科支援員」として配置。子どもたちにはより深い農業体験につながり、農業者には活動の場や生きがいに。



力が必要な田押し車による除草

東北農政局 ディスカバー

む ら

たから

農山漁村の宝アワード



お問合せ先

東北農政局 農村振興部 農村計画課 (TEL)022-261-6734
(FAX)022-216-4287
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 (仙台合同庁舎)

「ディスカバー農山漁村の宝アワード」ホームページ

[URL] <https://www.discovermuranotakara.com/>

